

懐徳堂 News Letter

懐徳堂研究センターの業務

1. 懐徳堂に関わる調査・研究、資料の収集・作成(デジタルコンテンツを含む)
2. 『懐徳堂研究』(年1回定期)、パンフレット、ニュースレター(不定期)等の広報媒体の編集・刊行
3. 懐徳堂研究の総合サイト「WEB懐徳堂(<http://kaitokudo.jp/>)」の管理運営
4. 学内外における懐徳堂資料の展示、講演会などの開催
5. 懐徳堂記念会の事業に関わる資料調査等の協力
6. 本学附属図書館および総合学術博物館の業務に関わる懐徳堂関係資料の調査等の協力

懐徳堂画像データベースの公開



懐徳堂研究センターでは、現在、「懐徳堂画像データベース」を作成中です。懐徳堂文庫には、書籍や器物を中心に約5万点の資料が収蔵されていますが、その写真や関連画像は各所に散在しています。そこで、それらの画像を集約し、公開しようという試みです。登録済みの資料から随時公開していきますので、こちらもご活用ください。

「懐徳堂画像データベース」
(<http://www.kaitokudo.let.osaka-u.ac.jp/>)

懐徳堂研究センターQ&A

- Q** 「懐徳堂文庫」所蔵の貴重資料を閲覧するにはどうしたらよいですか？
- A** 懐徳堂に関する貴重資料は、一部を除き、大阪大学附属図書館に配置・集中管理されています。閲覧等の手続きについては、附属図書館利用支援課(〒560-0043大阪府豊中市待兼山町1番4号、06-6850-5069〈FAX〉)へお問い合わせ下さい。
- Q** 懐徳堂に関する画像を借用したり、図書に掲載するにはどうしたらよいですか？
- A** 所蔵元によって申請方法が異なります。詳しくは、懐徳堂研究センターHPをご覧ください。
- Q** 旧懐徳堂センターの『懐徳堂センター報』や懐徳堂研究センターの『懐徳堂研究』のバックナンバーを見るにはどうしたらよいですか？
- A** 平成23年度より、順次バックナンバーを懐徳堂研究センターHPで掲載し、ダウンロードできるようになっています。
- ※その他、詳細は懐徳堂研究センターHPをご覧ください。

懐徳堂研究センター

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/kaitoku-c/>
〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5 大阪大学大学院文学研究科内
06-6850-5088(直通)

海外からの懐徳堂文庫訪問

2013年10月、韓国釜山大学の金声振学長が懐徳堂研究センターを訪問。パティシャル懐徳堂や懐徳堂文庫を見学しました。また同年11月には、韓国江商高等学校の先生・生徒あわせて10名が、「商業」を考える一環として懐徳堂を見学し、



大阪の商道徳育成に深く関わった懐徳堂の歴史や精神について学習しました。近年、国内だけでなく、海外においても懐徳堂への関心が高まりをみせています。

WEB懐徳堂 10周年

懐徳堂研究の総合サイト「WEB懐徳堂」が公開10周年を迎えました。これを記念する講演会が、2013年12月14日、大阪中之島のPLAZA21KANSAI シアター24を会場に、「歴史資料のデジタルアーカイブ—WEB懐徳堂公開10周年記念講演会—」と題して開催されました。また、このサイトについては、2014年2月1日付け産経新聞夕刊1面と3面に「大坂の真ん中で宇宙語る」「町人の学問所 業績世界へ」と題して紹介されました。



懐徳堂研究センター長 湯浅 邦弘 教授 国際学会賞受賞

2013年度の「中文デジタルパブリッシング・デジタルアーカイブ国際学会」の「優秀学術論文賞」を湯浅教授が受賞しました。発表タイトルは、「書簡と扇の



デジタルアーカイブ—大阪大学懐徳堂文庫の取り組み—」。会場は中国甘肅省敦煌。参加者は、東アジアを中心として世界各国から約400名。清華大学図書館・香港大学図書館・敦煌研究院・中国学術期刊電子雑誌社の共同主催。

デジタルコンテンツ紹介 WEB懐徳堂(http://kaitokudo.jp)

デジタルコンテンツ「懐徳堂考」

「懐徳堂考」は懐徳堂の創立から閉校までの約140年間の歴史を通覧した稀覯本で、今日においても、懐徳堂研究の最も基本的な文献としての価値を持っています。

このコンテンツは、次のような機能を備えています。

- ①「懐徳堂考」の上巻を閲覧することができ、概要や著者の西村天因について知ることができます。
- ②本文を表紙から順に閲覧したり、目次から目的のページを選択・閲覧することが可能です。また、2段階の拡大機能があります。
- ③「本文検索」機能では、検索したい語句を入力すると全文検索し、その結果を一覧表示します。そして、検索結果一覧から目的のページへ遷移することが可能で、翻刻表示部分に入力語句が赤で表示されます。
- ④「翻刻表示」機能では、表示位置を左右切り替えながら本文と同時に閲覧することができます。

TOPページ(オープニングアニメーション)



まず、書籍の概要を表示します。



オープニング画面の「本文検索」ボタンをクリックで検索画面が開き、語句を入力することができます。検索結果は一覧で表示され、検索語句部分が赤で表示されます。

「懐徳堂考上巻」「懐徳堂考下巻」「西村天因」の画像にマウスを乗せると、それぞれの解説が枠内に表示されます。

「本文を見る」ボタンクリックで、表紙から順にページを表示します。

「目次を見る」ボタンクリックで、目次とサムネイル画像を表示します。



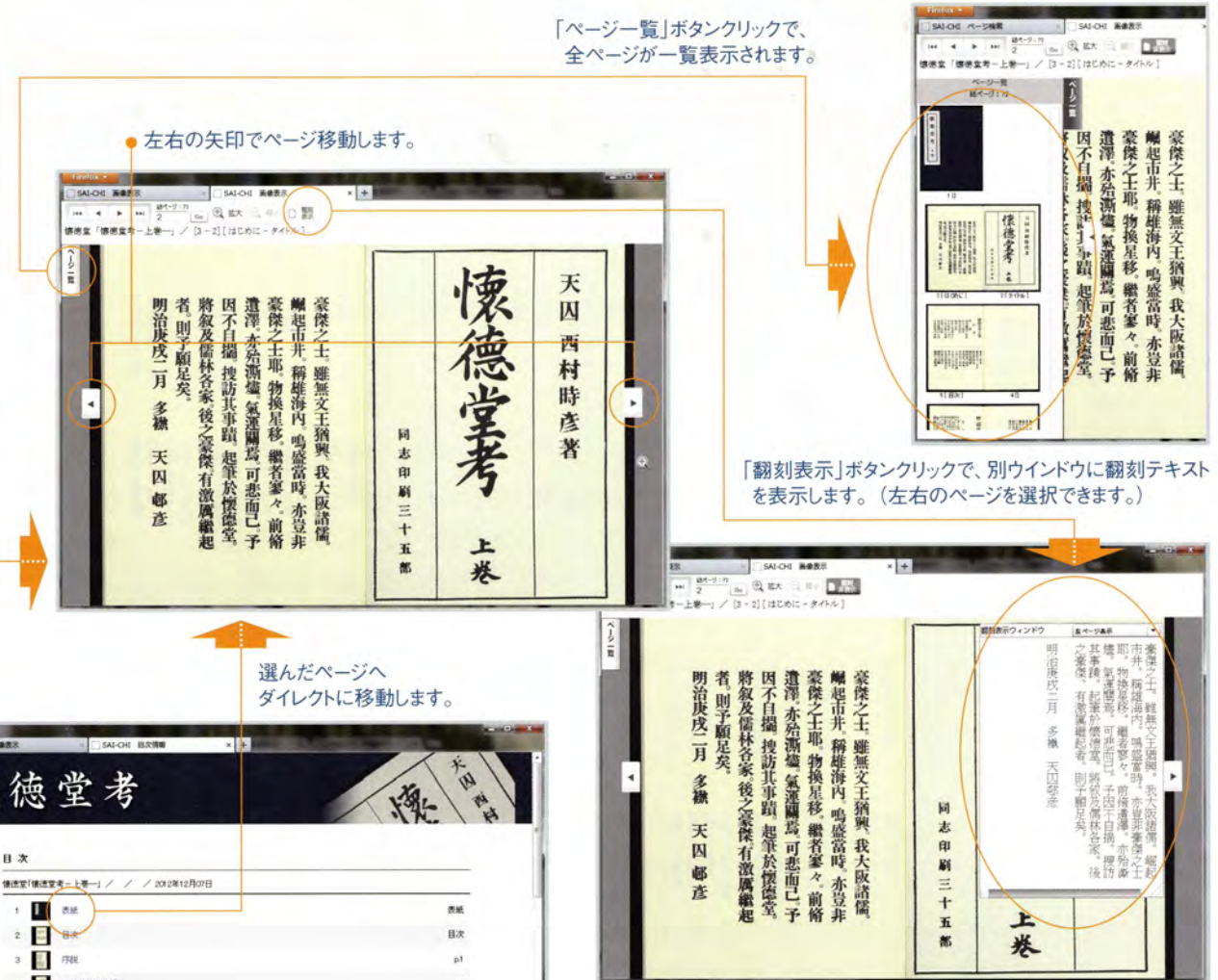
選んだページへダイレクトに移動します。



入力

結果

該当ページで翻刻表示すると、検索された語句が赤で表示されています。



左右の矢印でページ移動します。

「ページ一覧」ボタンクリックで、全ページが一覧表示されます。

「翻刻表示」ボタンクリックで、別ウインドウに翻刻テキストを表示します。(左右のページを選択できます。)